

報告事項 サ

「科博コラボ・ミュージアムin鳥取」、企画展「シュルレアリスムとその周辺」、美術部門テーマ展示「歌仙絵」の開催について

「科博コラボ・ミュージアムin鳥取」、企画展「シュルレアリスムとその周辺」、美術部門テーマ展示「歌仙絵」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成20年10月16日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

【国立科学博物館との連携事業】

「科博コラボ・ミュージアム in 鳥取」の開催について

国立科学博物館（東京都台東区上野公園）と鳥取県立博物館との連携事業として、下記のとおり「科博コラボ・ミュージアムin鳥取」を開催します。

〔参考〕科博コラボ・ミュージアムとは

地域の博物館への支援と自然科学の振興を図るために、国立科学博物館が全国各地の博物館や教育施設と連携して、それぞれの地域の自然、文化、産業等に関連したテーマで展示、講演会、体験教室等の博物館活動を実施する事業で、平成18年度から毎年全国数カ所で開催（平成20年度は、鳥取県立博物館のほか兵庫県立人と自然の博物館で開催）

今回の「科博コラボ・ミュージアムin鳥取」では、「知られざるイカのひみつ！」をテーマに、鳥取県立博物館附属「山陰海岸学習館」（岩美町牧谷）を会場に、イカの生態などについての企画展示やダイオウイカの研究の権威である国立科学博物館の窪寺恒己博士の講演会等のイベントを実施します。

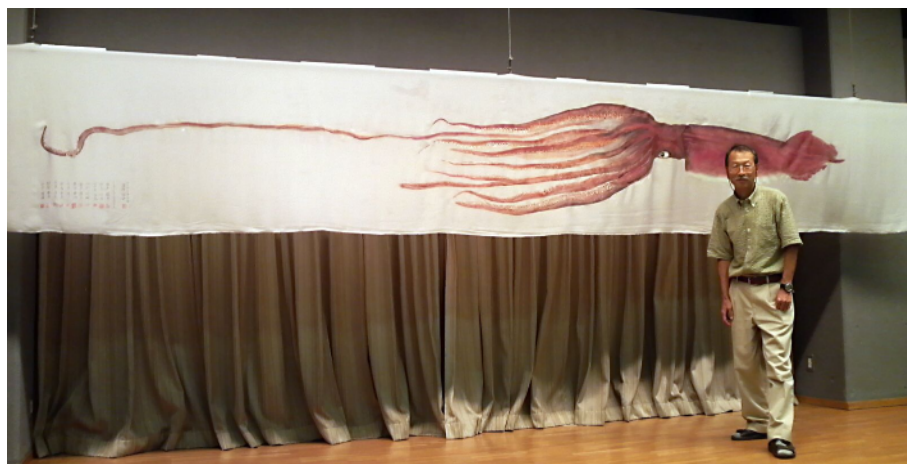
山陰でポピュラーなコウイカや巨大なダイオウイカなど、知られざるイカ類の生態について楽しく学んでいただける企画です。

1．事業の概要

- (1) テーマ 「知られざるイカのひみつ！」
- (2) 会 期 平成20年11月15日(土)～11月30日(日)
(休館日：11月17日(月)、11月25日(火))
- (3) 時 間 午前9時から午後5時 入場料：無料
- (4) 会 場 山陰海岸学習館（岩美町牧谷）

2．展示・イベントの内容

- (1) 企画展示（山陰海岸学習館 展示室）
 - イカ類の生態について
(イカ類のレプリカ及び標本の展示（約10種類）、沿岸性イカ類の繁殖行動の映像など)
 - ダイオウイカについて
(ダイオウイカの実物大魚拓（長さ6m×幅0.9m）の展示、ダイオウイカの映像)



ダイオウイカの実物大魚拓

(2) 関連イベント

講演会

日時 平成20年11月15日(土)
午後2時から4時

会場 山陰海岸学習館 体験学習室(収容人員50人)

演題 「ダイオウイカの謎にせまる」

講師 窪寺恒己(くぼでら つねみ) (国立科学博物館 海洋無脊椎動物研究グループ長)

(3) 体験イベント

「イカスミで“イカ拓”づくり」

日時 平成20年11月23日(日)、30日(日) 午後2時から3時30分

会場 山陰海岸学習館

内容 イカのスミを使って、実際にイカの拓本を作る。

定員等 定員：20人 要申込

コウイカ類の生態・行動解説

日時 平成20年11月23日(日)、30日(日) 午後1時から2時

会場 山陰海岸学習館

内容 エントランスに設置された大型水槽のイカを見ながら、学芸員がイカの不思議な行動について解説を行う。

定員等 なし 参加自由

企画展「シュルレアリスムとその周辺」の開催について

企画展名	シュルレアリスムとその周辺
会 期	平成20年11月22日(土)～12月23日(火・祝) 32日間(休館日なし)
会 場	鳥取県立博物館 第1・2特別展示室
主 催	鳥取県立博物館
協 賛	株式会社 吉備総合電設
後 援	県内報道各社
入場料	一般600円(団体・前売400円)
概 要	シュルレアリスムは、1920年代のパリを拠点に展開された、20世紀を代表する芸術運動のひとつです。無意識、夢、狂気、偶然性に着目し、芸術を理性の枷から解き放つことを目指したシュルレアリスムの美術を、版画を中心に、油彩画、写真など様々な技法の作品により紹介します。また、それらに影響を受けた現代美術家の作品も併せて展示し、シュルレアリスムの広がりや深まりを紹介します。

展示構成

シュルレアリスム宣言

シュルレアリスムの主導者である文学者ブルトンと、その思想を紹介します。

夢の中の風景

現実にはあり得ない不思議なイメージや白昼夢の光景を表現した作品を紹介します。

異化された風景

ありふれたイメージの意外な組み合わせ(デペイズマン)により、既成概念に衝撃を与える作品を紹介します。

オブセッション(妄想や強迫観念)

死の恐怖や性的な欲望など、強迫観念的な心の闇を表現した作品を紹介します。

神話とプリミティヴィズム

神話や原始的な生命力など、人間の根源的な姿に注目した作品を紹介します。

オートマティスム

無意識や偶然を浮かび上がらせるオートマティスム(自動記述)の手法を紹介します。

展示作品 サルバドール・ダリ、ルネ・マグリット、ジョアン・ミロなど94点(予定)

関連行事 いずれも午後2時より

開催日	名称	講師
11月23日(日)	講演会「シュルレアリスムの謎 ダダから現代美術まで」 (無料)	村松和明氏 (岡崎市美術博物館学芸員)
11月30日(日)	講演会「版の見る夢 シュルレアリスムと複製技術」 (無料)	林 道郎氏 (上智大学国際教養学部教授)
12月6日(土)	ワークショップ「コラージュ版画でポストカードをつくろう！」 (観覧料+材料費400円)	当館学芸員
12月20日(土)	映画上映会「眠るパリ」「幕間」「アンダルシアの犬」 (無料)	
11月29日(土) 12月13日(土)	ギャラリートーク (観覧料)	当館学芸員

美術部門 テーマ展示「^{かせんえ}歌仙絵」の開催について

榑谿神社が所蔵する狩野探幽筆「三十六歌仙図扁額」(鳥取県指定保護文化財)を中心に、歌仙を主題とした絵画作品や、王朝文化を代表する『源氏物語』や『伊勢物語』などに取材した作品を展示します。さらに探幽と同時代に活躍し、その生き方や画風など、さまざまな点で探幽と対照的な画家・狩野山雪の「龍虎図屏風」の名品も併せて展示紹介します。

歌仙絵：和歌の名手として崇拝される歌人の姿を描き、その詠歌を添えたもの

1 会期 平成20年11月20日(木)～12月23日(火・祝)

2 会場 鳥取県立博物館 第3特別展示室

3 展示内容(全28件)

I) 歌仙絵の世界

様々な歌仙絵を展示し、その幅広い展開を示します。

II) 探幽と山雪

狩野探幽と狩野山雪。

同時代に対照的な生き方を見せた江戸初期の巨匠の作品を展示します。

III) 王朝への憧れ

平安時代の王朝文化を代表する、紫式部や清少納言、また『源氏物語』や『伊勢物語』に取材した作品を展示します。

4 関連事業 11月22日(土)14時～
学芸員によるギャラリートーク



狩野探幽筆「三十六歌仙図扁額」



狩野山雪筆「龍虎図屏風」左隻(個人蔵)